

一材型セメント系カチオン性アクリル樹脂モルタル

タイトワンコテ・ローラー



タイトワンコテ・ローラーはカチオン性アクリル粉末樹脂を使用し、カチオンタイトの特殊技術を応用したコテ塗り・ローラー塗り専用の一材型下地調整塗材です。コテ・ローラー塗専用の配合にしてあるため抜群の作業性を実現し、接着性・仮防水性に優れています。

特長

- 水との混練だけで簡単に使用でき、作業性に優れています。
- 各種下地に対して高い接着力を示します。
- ひび割れがなく、肉痩せの少ない層が形成されます。
- 一材型製品のため、廃棄物を軽減した環境にやさしい商品です。
- ち密な構造と特殊樹脂の効果で短期的な仮防水機能を発揮します*。

*ひび割れがある場合はあらかじめ、漏水防止目的でシーリング処理を行ってください。



15kg 袋

15kg 袋

■ 適用下地



■ 用途

下地の種類

コンクリート、スレート、ガラスブロック、大理石、押し成型セメント板、鉄部

複層仕上塗材(ウレタントップ・アクリルトップ)、エポキシ樹脂塗床仕上げ、磁器タイル(コテのみ)

☆合板には「カチオンタイト」をご使用ください。

適さない下地 ▶ FRP、アスファルト、ポリエステル、アルミニウム、ステンレス、亜鉛メッキ、油面、フッ素樹脂・シリコン樹脂系仕上剤、撥水剤・ワックス塗布面、MMA、塩ビ系製品、軟質面等

注意事項

1. タイトワンコテの場合、塗り厚は 1 mm 以上としてください。但し、コテによるもみ過ぎは注意してください。厚塗りする場合は、5 mm 以内としてください。塗り重ねる場合は 5 時間以上経過した後としてください。
2. タイトワンローラーの場合、塗り厚は 1 mm としてください。ローラーで均一に塗付けて、下地が透けない程度に 2 回塗します。
3. タイトワンコテ 1 袋 (15 kg) に対して清水 2.8 ~ 3.0L を混入しハンドミキサー等で均一に練りあげます。使用目的に合わせ 0.5L 程度の清水で施工に適した粘度に調整します。この際、標準混練水量以上の水は入れないでください。
4. タイトワンローラー 1 袋 (15 kg) に対して清水 4.5 ~ 5.2L を混入しハンドミキサー等で均一に練りあげます。使用目的に合わせ 0.5L 程度の清水で施工に適した粘度に調整します。この際、標準混練水量以上の水は入れないでください。
5. 混練した材料は、30 分(冬期は 60 分)以内使用してください。
6. 合板に施工する場合はカチオンタイトをご使用ください。
7. 次工程で、溶剤系の材料施工は避けてください。次工程に溶剤系材料を塗付する場合は、カチオンタイト FS 速硬カチオンコテ、速硬カチオンローラー、カチオンタイト TS をご使用ください。

■ 次工程への標準養生時間

1. コンクリート下地の場合、気温 23℃で約 12 時間以上を目安としてください。
2. 仕上げにタイルやモルタルなどの重量物を施工する場合は約 36 時間以上を目安としてください。(タイトワンコテ)

■ 容量・形態

| | 内容量 (kg) | 清水(ℓ) | 練上り重量 (kg) | 練上り量 (ℓ) | 形態 |
|------|----------|---------|------------|-----------|----|
| コテ | 15 | 2.8~3.5 | 17.8~18.5 | 10.5~10.8 | 袋 |
| ローラー | | 4.5~5.2 | 19.5~20.7 | 12.1~12.9 | |

■ 施工概算

| 製品名 | タイトワンコテ | | | タイトワンローラー |
|-----------|---------|-----|-----|-------------|
| 標準塗り厚(mm) | 1.0~3.0 | | | 1.0 |
| 標準混練水量(ℓ) | 2.8~3.5 | | | 4.5~5.7 |
| 塗り厚(mm) | 1.0 | 2.0 | 3.0 | 1.0 |
| kg/㎡使用量 ※ | 1.7 | 3.4 | 5.1 | 1.6 |
| 施工面積(㎡) | 10.5 | 5.2 | 3.5 | 12.1 ~ 12.9 |

※練り上がり重量換算